

中世禁裏女房の研究

松 蘭 齊 著

【2018年11月刊行】

中世という激動の時代、翻弄される朝廷を支え、中世文学の担い手として活躍した禁裏の女房たちの実態に迫るべく、さまざまな文献資料を渉猟し、丹念に繋ぎ合わせることで、一人ひとりの軌跡を追い、さらにその全体像の復元を試みた労作である。

本書では、平安後期の堀河天皇から、戦国時代の後奈良天皇までの内侍の復元を軸に、勾当内侍や大納言典侍といった禁裏女房の中心的役割の女房の出現を明らかにし、とくに中世後期については、下級女房も含む女房全体を復元する。その成果は、巻末に天皇の在位期間ごとに一覧表化され、復元過程を通じて明らかになった、女房たちを輩出する「家」の系図も掲載する（裏面に見本あり）。

第二部では、『看聞日記』より復元された伏見宮家の女房の実態から中世女房の存在形態を紹介し、第三部では、日記文学や『御湯殿上日記』などの中世の日記と女房との関わりを多面的に追っている。中世史研究の工具書として必携の成果である。

▶A5判・552頁／定価：本体 8,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1956-8

【内容目次】

◆第二部 室町時代の宮家の女房と尼◆

序 章 中世の内裏女房を理解するために
研究史を振り返って／中世女房の数量的把握

第七章 伏見宮家の女房たち

女房たちの構成／上臈の女房／女房の採用と改名／家務権

付 論 伏見宮家の南御方—その物詣を中心に—

伏見宮家の南御方のこと／南御方の物詣／主な物詣先

第八章 『看聞日記』に見える尼と尼寺

『日記』に見える尼寺／伏見に住むさまざまな尼たち
／伏見の尼寺

◆第一部 中世禁裏女房◆

第一章 内侍の職務と補任

内裏女房の職務／内侍の補任／勾当内侍—その成立をめぐる—

第二章 中世の内侍の復元

堀河天皇～称光天皇

第三章 大納言典侍の成立

大納言典侍の出現／鎌倉時代の大納言典侍／南北朝時代の大納言典侍

第四章 室町時代の禁裏女房—後花園天皇の時代を中心に—

上臈／典侍／その他の典侍たち／内侍／その他

第五章 戦国時代の禁裏女房(一)—上級女房—

後土御門天皇の時代／後柏原天皇の時代／後奈良天皇の時代

第六章 戦国時代の禁裏女房(二)—下級女房たちを中心に—

局の官女たち／内侍所／女孺／台所

◆第三部 女房と日記◆

第九章 中世の女房と日記

「女流日記」と「女房日記」／日記文学の質／有識の女房と日記
／女房と「日記の家」／男性の仮名日記

第十章 『御湯殿上日記』の成立

成立とその歴史的背景／中世日記に見える女房関係記事
／日記の記主とその形態／伏見宮家の成立—おわりに代えて—

天皇別女房一覧表①～⑳／主要関係系図1～17
／人名索引(天皇／女房／その他)

まつぞの・ひとし…1958年生。九州大学文学研究科博士後期課程満期修了退学，博士(文学)。愛知学院大学文学部教授。日本古代・中世史。『日記の家—中世国家の記録組織』(吉川弘文館，1997年)，『王朝日記論』(法政大学出版局，2006年)，『日記で読む日本史 13 日記に魅入られた人々』(臨川書店，2017年)ほか，共編著多数。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	中世禁裏女房の研究		本体8,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1956-8
お名前		tel			書店番線印
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由(このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

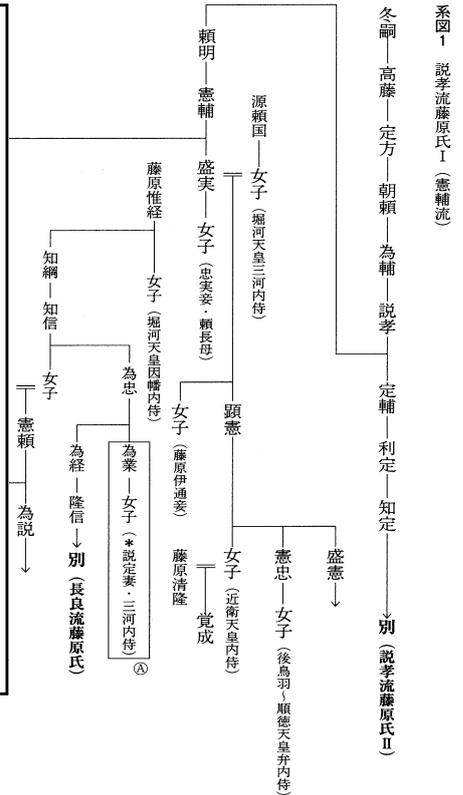
本書HPのQRコード

書店番線印

【一覧表と系図 組見本】

表① 堀河天皇 [応徳3(1086)・11・26~嘉承2(1107)・7・19崩御]

内侍名 氏名(女房名)	家族関係 (父・夫・子)	応徳3年	寛治2年	寛治3年	寛治4年	寛治5年	寛治6年	寛治7年	嘉保元年	永長元年	承徳元年	承徳2年	康和元年	康和2年	康和3年	康和4年	康和5年	長治元年	嘉承元年	嘉承2年	備考	
1 ? (少将)	藤原実方女	■																			白河より渡される	
2 平仲子(周防)	平棟仲女	■																				白河より渡される →鳥羽天皇
3 藤原性子(因幡)	藤原惟経女	■																				素服
4 ? 忠子(伊勢)	?																					
5 高階兼子(美濃)	?																					→鳥羽天皇
6 ? (越中)	?																					
7 源盛子(三河)	源頼綱女・藤原盛実妻																					
8 藤原実子(遠江)	藤原実定女																					
9 ? (中宮内侍)	藤原能成女																					
10 平経子	?																					
11 高階基子(肥後)	高階基実女																					素服
12 源寧子																						
13 高階繁子																						
14 藤原憲子	高宮内侍																					



思文閣出版既刊図書案内

表示価格は税別

※中世前期女性院宮の研究

山田彩起子著

院政・鎌倉期における女性院宮(女院・后)の多様な存在形態を様々な視点から分析。第一部では、国母の存在形態の多様性と王家における役割・位置付けを検証し、第二部では、撰閤家出身の女性院宮の撰閤家における独自の役割の大きさを論証する。中世前期の女性院宮研究のみならず、中世の公家社会研究に寄与する一書。

▶A5判・310頁/本体5,600円(税別) ISBN978-4-7842-1496-9

日記・古記録の世界

倉本一宏編

日本の日記・古記録を題材として、日本史学、日本文学など関連分野の第一線の研究者がそれぞれの視点からその本質に迫った論文集。日記とは何か、古記録とは何か、それらを記録することの意味、記主や伝来をめぐる諸問題、さらには古代・中世における使われ方など、単に日記・古記録を利用するだけにとどまらない意欲作35論考を収録。

▶A5判・792頁/本体12,500円(税別) ISBN978-4-7842-1794-6

藤原道長事典 御堂関白記からみる貴族社会

大津透・池田尚隆編

『御堂関白記全註釈』(全16冊)の成果をふまえて、最新の研究成果に基づいた新たな平安朝の貴族社会像を提示する。

『御堂関白記』に頻出の語句や表現をとりあげ、「政務・儀礼」「邸宅・地名」「風俗・信仰」など11の大分類に整理、各ブロック冒頭には、専門分野の執筆者により詳細な解説を収録。

▶A5判・462頁/本体6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1873-8

※平安貴族社会の秩序と昇進

佐古愛己著

律令国家体制が維持されていた平安初期から、平安末・鎌倉初期までを射程として、貴族社会の構成と編成原理を解明する大著。本書では、平安から鎌倉初期にかけての各制度の総体的な把握を試みることににより、律令官人制から平安貴族社会、中世公家社会の成立過程を明らかにし、日本の古代から中世への移行の特質を探る。

▶A5判・572頁/本体7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1602-4

*桃裕行著作集 第4巻 古記録の研究(上)

※桃裕行著作集 第5巻 古記録の研究(下)

東京大学資料編所にて古記録や編年史料の調査・編纂に携わった著者の業績を大きく「上代学制」「古記録」「古暦」を柱として集成。

④▶A5判・298頁/本体8,900円(税別) ISBN978-4-7842-7037-8

⑤▶A5判・316頁/本体5,800円(税別) ISBN4-7842-0548-9

第4巻はオンデマンド印刷です

栄花物語・大鏡の研究

山中裕著

従来『栄花物語』はとくに国文学の分野でとりあげられ、歴史学の方面からの研究は少ない状態である。本書は『栄花物語』に内包される歴史書としての特徴を考究し、かつ『大鏡』の歴史的意義についても論究。従来からの歴史物語という分野に収まりきれない可能性を提示する。

▶A5判・404頁/本体7,200円(税別) ISBN978-4-7842-1640-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。